Mail Order List 2023-#2

www.tambourine-japan.com
email: song@tambourine-japan.com

(List 2023-#2 紙版使用表紙ジャケット)
CHRIS BRAIN:Steady Away(UK)

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
Ａ￥１９８０(税込み¥2178)　Ｂ￥２１８０(税込み¥2398)
Ｃ￥２３５０(税込み¥2585)　Ｄ￥２５８０(税込み¥2838)
Ｘ￥４８０(税込み¥528)　Ｙ￥９８０(税込み¥1078)　Ｚ￥１４８０(税込み¥1628)

（送料）
※ご注文枚数に関係なく《一律１８５円》郵送
ただしＬＰを含む場合は一律５００円。
※代金引換送料（郵送）：590 円何枚でも）
ＬＰを含む場合は＋２５０円。

注文方法サイト：　http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm

【ご注文はできるだけ 10/31 までにお願いします】
注文方法１の場合を除き、発送はご注文受取り後約５日以内にしたいと思っていますが、無理な場合もあります。締切日に近いご注文の場合は、２週間ほどかかる場合もあります。電話注文はお受けしておりません。
●お問合せはメールにてお願いします。
●ご注文の際、プライス又はプライス･コードをお書き願います。
●カタログは郵便にてお届けします。

（「在庫処分」中心のリスト）
*大変ご無沙汰しました。皆さん如何お過ごしですか？秋はいつ来るかと心配しましたが、ちゃんと来ましたね。タムボリン前の原っぱの五本の栗の木もいつものように実をを付けて、いつものように栗拾いを楽しみました。ただ今年は収穫の三分の一ほどを鹿の家族に獲られてしまいました。が、家族三人で消費するのに十分な量の収穫がありました。
*各１～２枚の在庫商品が大量にあります。これまでもこれからも「在庫処分」中心のリストになりそうなので、新たに低価格のプライスコードを作りました。本ページでプライスコードをご確認下さい。
*昨年のお盆頃から感じていたドライアイの症状が今年の春頃からひどくなって、パソコン作業を極力控えるようにしていました。名眼科医（何と船津さんとおっしゃいます）のお陰で、ぼちぼち

仕事が出来るようになるまで回復しました。
*円安ということもあって、今回のリストは「在庫処分リスト」のみにする予定でしたが、暇つぶしに新譜情報を見ていたら、気になるのが出てきて、視聴して気に入った音盤を数点仕入れました。今回も昔の音盤を掘り起こして楽しみながらリスト作りをしました。

（分割払い）
*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請求額の半額になります。残り半額は 12 月 15 日まででＯＫです。

Re-issue, USA, British Folk, England, Scotland, Ireland, Europe,

Sale(VIDEO,CD,LP,CASSETTE TAPE), 堀田はりいの本, あとがき

（ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です）

[リイシュー/Historic Recording]
（CD/ＵＳＡ）

(Skip Battin)

*SKIP BATTIN:Italian Dream D
(Byrds,New Riders,Flying Burrito のシンガー＆ベース奏者 Skip Battin の共に Appaloosa よりリリースされていた"Navigator"{1981 作}と"Don't Go Crazy"(1984 作)に 1981 年のボルツァーノのライヴ音源 11 曲を加えてリリースされた二枚組で全 31 曲収録。Sneaky Pete や Greg Harris 等のバックアップによる"Navigator"と"Don't Go Crazy"は Skip Battin のヒューマンな個性が表われたひと味違うカントリー･ロックの名盤だが、追加で収録されたライヴは"Mr.Tambourine Man"他 Bob Dylan の曲４曲を含む Byrds や Flying Burrito のナムバーを中心にした曲目で、カントリー･ロッカーとしてフォーク･シンガーとして真っ直ぐな唄と音楽が楽しめる。気分がほっこりするライヴだ。改めて Skip Battin の個性的な魅力が体感出来る 31 曲だ。2017 作。Appaloosa)
※初入荷。Appaloosa のカタログで再プレスとして新譜情報に載っていて本作のことを知りました。
*EAGLES:Live,Houston Texas 1976 D
(1976 年 11 月 6 日にテキサス州ヒューストンの The Summit"で開かれた Eagles の二枚組ライヴ。音源は FM ラジオ。メムバーは Glenn Frey,Don Henley,Don Felder,Randy Meisner そして Joe Walsh。1976 年/2022 作。Timeline)
*LITTLE FEAT:Live In Boston 1975 D
(1975 年 10 月 31 日にボストンの Orpheum Thetre で開かれた Little Feat の二枚組ライヴ。音源は FM ラジオ。メムバーは Lowell

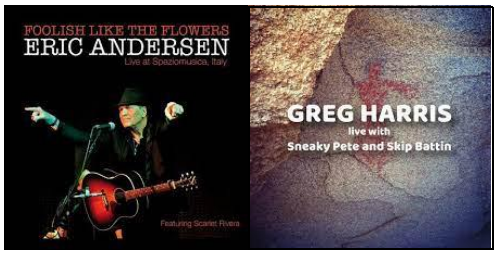
George,Bill Payne,Paul Barrere,Sam Clayton,Ken Gradney,
Richard Hayward。1975 年/2022 作。Timeline)

（CD/ＢＲＩＴＡＩＮ＆ＩＲＥＬＡＮＤ他）

*TREVOR BEALES:Fireside Stories A
(副題"Hebden Bridge Circa 1971-1974"。Bert Jansch や Davy Graham や Nick Drake と同時代、1970 年代前半頃のブリティッシュ・フォークど真ん中の音楽。本作は最近屋根裏部屋で見つかった宅録テープをデジタル処理を施して CD 発売した死後のデビュー・アルバム。70 年代英国フォーク・ギターの香りをプンプン放つギターの弾き語りの唄は夢があって優しい。70 年代ブリティッシュ・フォーク・ファン必聴。2022 作。Basin Rock)

*THE KINKS:Live In Virginia 1972 B
(Kinks が二枚組"Everybody's In Show-Biz"のプロモーションで 1972 年 11 月 4 日米国のバージニア大学で行ったコンサートのライヴ。音源は WTJV ラジオ。全 17 トラックの全 21 曲。ストレートなロックに二流センスのロックを織り交ぜた Kinks 絶頂期の Kinks らしいライヴ。1972 年/2023 作。London Calling)

[CD/ＵＳＡ{Folk、Rock}系]



(Eric Andersen) (Greg Harris)

*ERIC ANDERSEN:Foolish Like The Flowers C
(2019 年 11 月 9 日の夜イタリアのスパツィオムジカで行われた Eric Andersen のライヴ。メムバーは Eric と奥方の Inge Anderson{ﾊｰﾓﾆｰ･ｳﾞｫｰｶﾙ}に Scarlet Rivera{ｳﾞｧｲｵﾘﾝ}、Paolo Ercoli{ﾄﾞﾌﾞﾛ}、Cheryl Prashker{ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ}の三姫一太郎の四名。不滅名盤"Blue River"に収められた二曲を含め、初期の曲を中心にした曲目で、齢を重ねた Eric の滋味豊かなヴォーカルとそのヴォーカルにナチュラルにとけ込んだ伴奏＆ヴォーカル・ハーモニーで、"Blue and Deep River"な Eric Andersen の唄の世界を創り出している。夜という時間帯とファンに囲まれた室内、そして異国でのライヴそして名伴奏という条件が功を奏して、Eric の「齢を重ねた」唄は穏やかに最高潮。そんな空気の中"You Can't Relive The Past"での「過去を追体験することはできない♪」とうたう Eric のヴォーカルは熱い。2023 作。Appaloosa)

*GREG HARRIS:Live With Sneaky Pete And Skip Battin C
(元 Flying Burrito Brothers の Greg Harris の 1985 年のヨーロッパ・ツアーでのドイツでのライヴ。バンド・メムバーは Skip Battin,Sneaky Pete,Jim Goodall。彼らのエネルギッシュなライヴはもの凄い。カントリー・ロックの名曲の数々をノリノリでやってのける。出血大サービスの全 18 曲。2023 作。Appaloosa。

*LEO KOSTER BAND:Rickies Till Dawn B
(オランダを拠点に活動するカントリー・ロッカー Leo Koster の

2018年の"Leo Koster Sings Gene Clark"に次ぐ新作。本作では12弦リッケンバッカーなどのヴィンテージ･ギター･サウンドをフィーチャーし、滅茶苦茶かっこいいカントリー･ロックを体現している。カントリー･ロック熱愛おっさんと彼の仲間{Matthews Southern ComfortのBJ Baartmansもメムバー}によって創作された感涙のカントリー･ロック･アルバム。ファンはみんな笑顔。ゲスト:Charlie McCoy,Lloyd Green。2022作。More!!!)

*GUTHRIE THOMAS:Buffalo A

(1980年代前半にGuthrie Thomasが自主制作盤をリリースしていた時代の1983年作。本作もそうだが、その時代の彼のアルバムと同じくギターの弾き語りによる自作の唄はどの曲も素直で温和。今聴いても身にしみる。本作は2001年にTaximよりCD再発されたもの。彼のアルバムは当時本人から仕入れていて{やり取りは手紙}、サイン入り盤をプレゼントしてもらった思い出がある。※ブックレットを綴じるホッチキスが少しサビています)

*HEATHER SUMMERS & ANNA KRIPPENSTAPEL:The Other Years A

(古いアメリカン･フォーク風でのほほーんとして心地よい女性デュオのHeather & Annaの2018年作。春の三日間、ケンタッキー州の小屋で録音されたという本作は、二人が言うように本作でも収録されているJean RitchieやMichael HurleyそしてKaren Daltonを思い出させる。演奏楽器はフィドル、ギター、バンジョー。二人の唄と伴奏の渋さとゆるさに病みつき保証。No Quarter)

*SHAWN SAHM:Shawn Sham A

(Doug Sahmの息子Shawn Sahmの2002年作。父親のダグ･サームのテックスメックス･ミュージックの旨みを自身の音楽に取り込んだフレッシュなテックスメックス･ミュージック。ヴォーカルはダグ･サームに似てもいるが、爽やかさがある。Sir Douglas Quintetの弟バンド的な軽やかさが気持ち良い。ゲスト:Doug Sahm,Augie Mayers,Flaco Jimenez。Evanelin)

*JERRY RAU:Streetsinger A

(ミネソタのＳＳＷのJerry Rauの1995年作。全曲ギターの弾き語りでBill Stainesを想起させるJerry Rauの唄は終始穏やか。フォーク･シンガー/ＳＳＷの原点に立ち返った心洗われるＳＳＷアルバム。名盤。全12曲。Minstrel Music)

*TOM MITCHELL:When The Moon Is Right A

(1976年のデビュー作"Tom Michell"も名盤だが、それから20年後にリリースされた本作も素朴で滋味豊かでいぶし銀の名盤。唄そのものが味わい深い。1996作。Truesongs)

*JOLENE:Antic Ocean A

(SSWでギタリストのJohn Crooke擁するオルタナ系フォーク･ロック･バンドの2000年作。John Crookeのヴォーカルは繊細なのだが、陰りのある不思議な魅力がある上に、アコースティック･サウンドを基本にしたセンスあるフォーク･ロックは夢うつつな魅力がある。Johnのヴォーカルと一体となったコーラス･ワークもワクワクさせられる。Continental Driftersがバッキング･ヴォーカルを務めるSandy Denny作"John The Gun"はFotheringayタイプのフォーク･ロックで魅了する。Blue Rose)

*VINCE BELL:Phoenix Z

(およそ30年前の当店のベストセラー。南部ロック系SSWアルバムの名盤。Produced by Bob Neuwirth。w.Geoff Muldaur,Fritz

Richmond,Bill Rich,David Mansfield,John Cale 他。1994 作。Watermelon。※CD とブックレットは新品同様ですが、ブックレットを留めるホッチキスがサビていて、ブックレットにサビのシミがにじんでいます。在庫二枚)

*CORY MORROW:The Man That I've Been Y

(今年の秋に 25 周年ツアーを行うというテキサスの SSW の Cory Morrow の 1998 年のデビュー作。Maines Brothers の Lloyd Maines をプロデューサーに迎えて制作された本作は、Cory のヴォーカルを含め、テキサス・カントリー色濃厚なロッキン・カントリー。Morrow Music)

*TONY ARATA:Way Back When Y

(ジョージア州サバンナで生まれでナッシュビルを拠点に活動する{今も}SSW の Tony Atara の 2000 年作。ナッシュビルの SSW だが、スライド・ギターやスティール・ギターにソウルフルな女性バッキング・ヴォーカルなどカントリー・ロック～南部ロック志向で、Tony のヴォーカルはノリが良くて伸びやか。メチャかっこいい。Little Tybee)

*LOCUST FUDGE:Royal Flush Y

(米国ではなくドイツのインディー・ロック・ユニットの Locus Fudge の 1995 年作の二枚目。メムバーは Schneider{ヴォーカル、ギター、キーボード}と Christopher Uhe{ヴォーカル、ギター、ドラムス}の二人。60 年代のサイケなフォーク・ロック風でかつ先鋭的なサウンドとその時代のニール・ヤングのような暗たんムードのヴォーカル。魔法仕掛け。Glitterhouse)

*THE SHOW PONIES:How It All Goes Down Y

(Show Ponies は Clayton Cheney と Andi Carder の男女のリード・ヴォーカルを擁するロスを拠点に活動するルーツロック・バンド。彼らのロックは二人のヴォーカルを含めて、ルーツ色が濃く、また 70 年代のカントリー・ロックのように音楽に活気がみなぎっていて健やか。2017 作。Freeman)

*FRANK CHRISTIAN:From My Hands A

(Jack Hardy 主宰のソングライターズ。サークル出身の SSW でギタリストの Frank Christian の 1995 年作。ゲスト:Nanci Griffith, Garth Hudson。名盤。Palmetto)

*FRANK CHRISTIAN:From My Hands Z

(ブックレットの右上端が小さくカットされたサンプル盤。1995 年。Palmetto)※サンプル盤とお知らせ下さい。

*THE ORIGINAL HARMONY RIDGE CREEK DIPPERS
:Zola And The Tulip Tree Z

(Mark Olson,Victoria Williams,Mike Russell のトリオの 1999 年作。Mark Olson のヴォーカルも Victoria Williams のヴォーカルもそしてカントリー・フィーリングなサウンドもゆるいゆるい。西海岸産ノホホーンなルーツ・ロックの金字塔。ゲスト:Don Heffington{ボンゴ他},Eric Heywood{ペダル・スティール}。Creek04802)

*MARK STUART:Songs From A Corner Stage Y

(Stacey Earle のご主人の Mark Stuart の 1999 年作のデビュー作。本作はのギターの弾き語りによる SSW 然とした曲調の悲喜こもごも感のあるタイプの曲と南部～ルーツ・ロック・タイプの曲が混在。彼のルーツ志向の唄の数々は心底感動的。ゲスト:Stacey

Earle。Gearle)

[CD/ＣＡＮＡＤＡ]

*KATE & ANNA MCGARRIGLE:Tant Le Monde C
(副題"Live In Bremen / Germany 2005"。Kate が肉腫で亡くなる五年前の Kate & Anna 姉妹のライヴ。2003 年作の"La Vache Qui Pleure"からの５曲に Kate の元夫のラウドン･ウェインライト三世作の"The Swimming Song"やリンダ･ロンシュタット他多くのアーティストによってカバーされた"Heart Like A Wheel"ほか全 16 曲。2005 録音/2022 作。MIG Music)

*CAITLIN HANFORD:Blue Skies Y
(米国生まれでカナダで活動する女性 SSW の Caitlin Hanford の 1997 年作。Chris Whiteley の曲又は共作が半数の本作は、カントリー、ブルーグラス、オールド･ジャズ、アパラチア民謡など米国ルーツ音楽志向で、ヴォーカルは Emmylou Harris っぽくもあり、爽やか。Tim O'Brien や Gillian Welch の曲は元歌の味わいをキープ。w.Stuart Duncan,Chris Whiteley,Dennis Pendrith,Al Cross,Carl Jackson 他。Denon。※Caitlin は女性ヴォーカル･トリオ"Marigolds"を結成。2010 年に年間最優秀ヴォーカル･グループにノミネート)

*THE SMALL GLORIES:Assiniboine & The Red Y
(Small Glories は Wailin' Jennys のオリジナル･メムバーの Cara Luft とマルチ楽器奏者でシンガーの JD Edwards の二人組。阿吽の息で絞り出すようにうたう二人のヴォーカルは、土埃舞うルーツ･サウンドを伴って、見事な男女のヴォーカル･デュエットを見せつける。2019 作。Compass)

[CD,LP/ＵＫ]

*CHRIS BRAIN:Steady Away(CD) D
*CHRIS BRAIN:Steady Away(LP) ¥4350(税込み¥4785)
(ゾクゾクするような Chris Brain の通算二枚目の新作だ。二枚目制作の話を聞いたとき、二枚目はともすると過剰アレンジに陥るのをいさめるため「一枚目のようなギター弾き語りをベースに制作して欲しい」とメールしたら「そうしたい」と。冴え渡るギターと Nick Drake を想起させるヴォーカルとサウンド。Chris Brain の唄は自然の風景や鳥などを題材にした唄が多く、Nick Drake の陰鬱な資質とは異質だが、「内省的」な志向性で不思議に重なる。Chris Brain は Nick Drake の独創性のある音楽を完璧に消化し、自分の唄の栄養分にしている。驚くのはギターのスタイルが多彩化していること。そのため英国フォーク的に音楽性の膨らみを生んでいて、音楽が豊かになった。英国の某フォーク系 WEB 情報サイトのアルバム評での「サンディー･デニーに相当する男性の唄」との指摘。そう言われれば、確かにそうと思える曲が何曲か･･･。2023 作。Big Sun)※LP も CD もダブルジャケット。

※LP は歌詞付ですが、CD には付いていません。CD 購入者には LP に付いた歌詞をコピーして CD にお付けします。

（余談）

ラストはロバート･バーンズの"Now Westlin Winds"。Chris Brain はこの曲を今年の 1 月に YouTube で公開。それを聴いた Chris Brain の大ファンの友達から「クリス･ブレインに次作に入れて欲しいと伝えて欲しい」と。その願いを聴いてくれたようです。

[LP/ＵＫ]

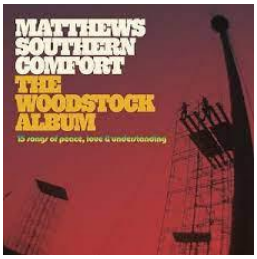
*CHRIS BRAIN:Bound To Rise（夜明け）　　¥3818(税込み¥4200 円)
（2022 作。Big Sun Records）

タムボリン・オリジナル！クリス・ブレイン特製の 15 羽の鳥のポスター（A3 サイズ）と英語歌詞・対訳（船津潔）付。

♪私にとっては、このアルバムは最近の中では出色のものです。ニック・ドレイクの影響が大ですが、負けていません。素晴らしい！（須田　稔）

♪英国の若きシンガーソングライターのクリス・ブレインの心惹かれるデビュー･アルバム。ニック・ドレイクやジョン・マーティンやジョニ・ミッチェルのようなシンガーの唄にインスピレーションを得たというクリスの唄は、彼がギターを爪弾き奏で出す美しいメロディーも、彼のおだやかでたゆたふようなヴォーカルもニック・ドレイクを想起させるもの。違うのはクリスの方は唄もギターも健やかなこと。木々などの清々しい新緑の中で、夢想しながらギターを爪弾き唄をうたっている感じなのだ。ブリティッシュ・フォークを 50 年以上愛聴してきた自分の感性に今最もピッタリの音楽。（船津　潔）

[CD/ＵＫ]



(Matthews Southern Confort)

*MATTHEWS SOUTHERN COMFORT:The Woodstock Album　　C
（Iain Matthews,BJ Baartmans,Eric Devries,Bart de Winoe から成る Matthews Southern Comfort の新作は CS&N や The Band や Tim Hardin や John Sebastian や Grateful Dead などがウッドストック･フェスで演奏した曲を独自のスタイルで演唱したもの。

Iain Matthews の渾身のヴォーカルは今が旬のパワーを発し、バンド･サウンドは彼らならではのコーラス･ワークを保持しながら曲に応じてロック寄りで多彩。ジミヘンの「紫のけむり」やRichie Havens がうたった"Get Together"を含む全 15 曲。2023 作。Continental。

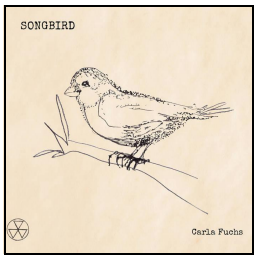
*JUNI HABEL:Carvings A

（ノルウェーの女性 SSW のアルバムだが、「珠玉の」と誉めるに値するブリティッシュ･フォーク･タイプのアルバムなので、ここで。ほとんどの曲を祖母の家{ジャケ写の家}で録音をしたという本作は、さざなみのようなギターが特徴的なギターの伴奏による弾き語りで、心を鎮め密やかにうたう彼女の唄の世界にじわじわっと引き込まれる。バッキング･ヴォーカルを含め僅かな効果音的サウンドが施されているが、すべてが Juni の唄の世界に魔法のように同化していて、トータルに音楽の質を高める効果を果たしている。極上の 70 年代ブリティッシュ･フォーク風 SSW アルバム。唄は英語。2023 作。Basin Rock）

*MARTIN JOSEPH:Full Colour Black And White Y

（「今日のイギリスで最もカリスマ的で感動的なＳＳＷの一人。タフで情熱的な人物」とトム･ロビンソンが評した英国のＳＳＷでギター奏者の Martyn Joseph の 1996 年作。初心に帰ると自身の屋根裏部屋のスタジオで制作された本作は、内に秘めたパワーがシンプルに充実した名作。Grapvine）

[CD/FAIRPORT&FRIENDS]



（Carla Fuch）

*CARLA FUCH:Songbird B

（ドイツ人の SSW でマルチ演奏家の Carla Fuch がサンディー･デニーのカバー曲を YouTube で公開したのがきっかけでサンディーの娘のジョージアとオンラインでの交流が始まったという。ジョージアは母サンディーの詩に命を吹き込むべく Carla Fuch にアルバムの制作を提案。本作はプロジェクト"Songs Of Sandy Denny"の旗のもと、Carla Fuch がサンディーが残した未完成の曲をオリジナルに完成させたもの。Carla Fuch のヴォーカルは誠実で真に優しい。伴奏もピアノやギターの弾き語りをベースにしたシンプルな音作りで、Carla Fuch の唄の世界を優しく包む。母サンディーが娘ジョージアのことを曲にしようとしていた"Georgia"の穏やかな美しさは言葉では言い表せないほど{ジョージアはおそらく涙流しただろう}。このことは"Georgia"以外の曲にも言えることで、どの詩にも新たに優しい命が宿っていて、心和らぐ。歌は心。2023 作。Talking Elephant）

*DAVID CARROLL AND FRIENDS:Bold Reynold B

（全く馴染みのなかった David Carroll なる人物のデビュー作。Fairport と Gryphon のメムバーに電話をして始まったという本

作は、夢のような 70 年代のブリティッシュ・フォーク＆ロックの逸品。アルバムに参加したミュージシャンは Fairport から Chris Leslie と Dave Pegg の二人に Gryphon から Brian Gulland, Dave Oberle, Graeme Taylor の三人。加えて Men They Couldn't Hang の Tom Spencer に女性シンガーの Lucy Cooper。フェアポートのフォーク・ロックとグリフォンの中世ルネサンス・サウンド寄りのフォーク・ロックを織り交ぜたフォーク・ロックと馴染みのトラッド曲の数々にワクワク。2023 作。Talking Elephant)

*SANDY DENNY:The Best Of Sandy Denny Y
("20 Century Masters The Millennium Collection"。10 曲。2002 作。Canada A&M))

*FAIRPORT CONVENTION:Angel Delight(1971 作。Island) X

*FAIRPORT CONVENTION:Nine(1973 作。Island) X

*FAIRPORT CONVENTION:Before The Moon Z
(1974 年の Ebbets Field でのライヴ。メムバーは Sandy Denny, Trevor Lucas, D.Swarbrick, D.Mattacks, D.Pegg, Jerry Donahue。20 トラック収録。2002 作。Pilot)

*FAIRPORT CONVENTION:Who Knows? Y
(1975 年 Uxbridge Brunel University でのライヴ。メムバーは Sandy Denny, Trever Lucas, Jerry Donahue, Dave Pegg, Swarb, Bruce Rowland。全 13 曲。2005 作。Talking Elephant)

*FAIRPORT CONVENTION:The Cropredy Box A
(Cropredy の 30 周年ライヴ。３枚組。1998/2003 作。Sanctuary)

*FAIRPORT CONVENTION:Shuffle And Go 1200 円(税込み 1320 円)
(フェアポートの 2020 年作。フェアポートのオフィスのミスで入荷。格安販売。Matty Grooves。

[CD/ＥＮＧＬＡＮＤ]

(Leveret)

*LEVERET:Forms C
(Andy Cutting{ｱｺ､ﾒﾛｰﾃﾞｨｵﾝ}, Rob Harbron{ｺﾝｻｰﾃｨｰﾅ}, Sam Sweeney{ﾌｨﾄﾞﾙ}からなるスーパー・トリオの新作で通算五枚目。結成 10 周年を祝う本作だが、音楽はこれまで同様に英国トラッド曲への深い愛情と優れた演奏とミュージシャン同士の絆に裏打ちされたダイナミックでエレガントで美しい Leveret 流英国トラッド。感動さめやらず。「彼ら三人が集まると何か特別なことが起こる。それは根源的でダイナミックでありながら、時代を超越したもの。それは魔法のような何か」とは folkradio。ちなみにアルバムタイトルはウサギの巣の名前から取られたもの。ジャケットは巣のウサギ･･･。2023 作。Levert Music)

*LEVERET:Inventions A
(Andy Cutting{ｱｺ､ﾒﾛｰﾃﾞｨｵﾝ}、Rob Harbron{ｺﾝｻｰ ﾃｨｰﾅ}そして Tom Sweeney{ｳﾞｧｲｵﾘﾝ､ｳﾞｨｵﾗ}の Leveret の 2017 年作。本作はスタ

ジ･ライヴで、イングランド的な気品とロマンティックさが音楽の根っこに感じられる気持ちの良い音楽。それは Andy Cutting が 1990 年代初めに Chris Wood と組んで創作した音楽のような心の深いところで感動する音楽。2017 作。Rootbeat)

*PETE HAWKINS:Secrets,Vows & Lies Z

(英国人 SSW 兼ギター奏者の Pete Hawkes がオーストラリア滞在中に、オーストラリア滞在中の Dave Swarbrick をゲストに迎えて制作した 1996 年リリースのアルバム。ギタリストとして初期に Davy Graham と Robert Johnson に影響を受けたという彼のギターはフォークとブルースが混在する 60 年代ブリティッシュ･フォーク･ギター風でヴォーカルは Nick Drake っぽいと感じられる曲が所々。Dave Swarbrick は 4 曲でフィドルを奏でているが、もう一人のフィドル奏者の Sandy Gibbney のフィドルもスウォーブリック風で見分けが付きにくい。心は 60 年代～70 年代のブリティッシュ･フォーク。Larrikin)

*POLLY BOLTON･STEVE DONACHIE･JOHN SHEPHERD
;Songs From A Cold Open Field Z

(元 Dando Shaft、元 Albion Band の Polly Bolton の実質的ソロ。トラッド曲を個人的な愛唱歌として昇華。フォーク、ジャズ、カントリーなど彼女ならではの味のある音作りとシンギングで魅了する。1991 年。PBB)

*SIMON MAYOR & HILARY JAMES:Duos Z

(細やかなシンギングが魅力的な Hirary James の唄とマンドリン音楽の道を探求する Simon Mayor の魅力がナチュラルに溶け合ったライヴ演奏集。Simon Mayor の音楽の幅はケルト、ブリティッシュ･トラッド、ラグタイム、ジャズ、東欧音楽。二人の唄と音楽は最高に心地よい。2001 作。Acoustics)

*JIM MORAY:Jim Moray Y

(Jackie Oates の弟でトラッドをうたうシンガーで作曲家の Jim Moray の 2006 年作の二枚目。2003 年 BBC ラジオ２で"Horizon Award"賞にノミネートされた"Sweet England"に次ぐ本作はオーケストラ･サウンドを施した新奇な英国トラッドでファンを驚かせた。そして今も革新を持続している。彼のヴォーカル･スタイルは、どちらかと言えばロック･シンガーのタイプ。「私はこの古いバラッド･シンガーが大好きです」とはイギー・ポップ。Niblick)

［CD/ＣＯＲＮＷＡＬＬ］

*NIGEL(An Gwer)ROBERTS & FRIENDS:Just Is Y

(Nigel Roberts{通称 An Gwer}は自称「ケルトの吟遊詩人」。彼自身はダルシマー、ハープ、フィドル、マンドリン、バウロン等を演奏し、飄々とストーリー性のある唄をうたう。印象は Robin Williamson&His Merry Band。彼の仲間との音楽{楽器はﾊｰﾃﾞｨ･ｶﾞｰﾃﾞｨ、ｽﾓｰﾙ･ﾊﾟｲﾌﾟｽ、ﾎｲｯｽﾙ、ﾘｺｰﾀﾞｰ、ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ、ﾍﾞｰｽ、ｼﾞｬﾝﾍﾞ、ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ、ｸﾗﾘﾈｯﾄ等＋女性ｳﾞｫｰｶﾙ}は、まるで中世の広場でうたい、踊り、演奏する楽士。本作は薄型ケース CDR で、 ジャケット簡素。裏ジャケはない。2004 年と 2006 年の録音。An Gwer)

［CD/ＳＣＯＴＬＡＮＤ系］

(Joy Dunlop)　　(Daimh)

*JOY DUNLOP:Caoir　　C
(ゲール語トラッド･シンガー＆ステップダンサーの Joy Dunlop の 2023 年作。アルバムタイトルの Caoir は｢激しく燃え上がる炎｣の意。ジャケットもブックレットも炎色。そして彼女が伝統的なゲール語ソングに挑む情熱はまさに炎のごとし。マウス･ミュージックやリルティングを含む伝統的なゲール語ソングを侘び寂び感のあるスコティッシュ･メロディーを含め､伝統歌の言葉のリズムを最大限に生かしたシンギングとサウンドで釘付けにする。エレキギターやドラムスも加わったトラッド･サウンドはダンサブルな曲調の曲を見事に活性化していて､オリジナルな先進的フォーク･ロック･サウンドを創作している。スコットランドの女性トラッド･シンギング･アルバムとして画期的なアルバム。Joy Dunlop のシンギングはメッチャ輝いている。2023 作。Sradag Music。※ネットで知ったが､彼女は BBC Scotland と BBC ALBA のお天気キャスターだそうだ)

*DAIMH:Sula　　C
(伝統的ゲール語の歌姫の Ellen MacDonald を擁するトラッド･バンド"Daimh"の５年ぶりの新作。メムバーは Ellen MacDonald に Angus MacKenzie,Murdo Cameron,Ross Martin そして Alasdair White。アルバムタイトルの Sula は古い北欧語でカツオドリの意。ルイス島の沖にある小さな島のバーネラ島にある英国で最も僻地にあるスタジオ{自ら｢世界の果てにあるスタジオ｣と}で冬に収録。冬という季節と収録地の立地条件が功を奏して､彼らの各種バグパイプ､ツインフィドル､ギター､アコ､ホイッスル､マンドーラ､バンジョーによる演奏は､まるで屋外で雨や風を肌に感じながら生で演奏しているかのように､スコティッシュの根源的なサウンドを超一流の演奏力で気高く奏している。特筆すべきは Ellen MacDonald のシンギング。彼女の抑制の利いた野趣な味わいのあるシンギングは偉大なトラッド･シンガーの素質を継承している。荒涼とした風景が目に浮かぶよう。トータルに秀逸。2023 作。Goat Island Music)

*BILLY CONNOLLY'S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND　　Y
(スコットランドのミュージシャン{両親がアイルランド移民}でタレントの Billy Connolly{ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ､ｵｰﾄﾊｰﾌﾟ他}とスコットランド屈指のフィドラーの John McCusker がタッグを組んで完成したスコティッシュ＆アイリッシュをベースにした円やかでほっこり感のあるケルティック･ミュージック。共演は John McCusker の元夫人の Kate Rusby に Eddi Reader,Andy Cutting,Michael McGoldrick,John Doyle,Phil Cunningham,Kris Drever,Ian Carr 他。Produced by John McCusker。2004 作。Park)

*RUNRIG:In Search Of Angels　　Y

（最高のスコティッシュ･フォーク･ロック。1999 作。Sony Music）
*RUNRIG:The Essential Runrig X
（1979 年から 1996 年までの音源からの 16 曲収録コンピレション。2007 作。Capitol）

［CD/ＩＲＥＬＡＮＤ系］

デジパック･タイプを含め､元々開封されているものが多数あります。

（Michelle Mulcahy）
*MICHELLE MULCAHY:Lady On The Island D
（伝統的アイリッシュ･ハープ音楽の第一人者のミシェル･モルカヒーの待望のソロ･アルバム。高度な演奏技術はファンの間でよく知られているが､本作は彼女のアイルランドの伝統音楽への深い愛情と伝統音楽一家に育った伝統的ハープ演奏家としての誇りと探求心が見事に実を結んで､珠玉のアイリッシュ･ハープ音楽を創り上げている。彼女が爪弾き奏でる音楽はアイリッシュ･ミュージックのコアの多彩なリズムやニュアンスを明快に表現していて､ハープ･ファンのみならず､全アイリッシュ･ミュージック･ファンの琴線に触れる音楽になっている。ちなみにアルバム･タイトルで本作の最後に収録された"Lady On The Island"は､父親のミックと一緒に音楽して遊ぶのが大好きという美しいリール。全 13ﾄﾗｯｸ/全 25 曲。©2022 年。Michelle Mulcahy）
*TEADA:Coisceim Coiligh B
（ゲストに Séamus Begley{4 曲参加]を迎えて制作された Teada の結成 21 周年を祝う 2022 年作。フィドル､ボタン･アコーディオン､フルート､ギター､ブズーキ､バウロン､キーボードによるアイリッシュは音楽が多彩でスローテンポからミディアムテンポそしてアップテンポまで縦横無尽。その職人芸は驚くばかり。さらに生前最後の録音記録と思われる Séamus Begley の柔和なゲーリック･シンギングが涙を誘う。最高のアイリッシュ！Gael Linn）
*THE LARK ON THE STRAND:The Lark On The Strand C
（本作は 2000 年一月に Sesoaimhín Ní Bheaglaíoch{Macalla 懐かしい!/ｳﾞｫｰｶﾙ},Charlie Piggott{De Danann/ｱｺ},Peter Browne {1691 懐かしい！,Bothy Band [Paddy Keenan の代役] /ｲﾘｱﾝﾊﾟｲﾌﾟｽ},Gerry Harrington{ﾌｨﾄﾞﾙ}が"The Lark On The Strand"の名でツアーをしたときのライヴ･アルバム。ア イリッシュ･ミュージック界のプロフェッショナル三人によるアイリッシュは､あの手この手の名演奏で舌鼓を打たせる。加えて Sesoaimhín の滋味豊かなゲール語のシンギングが絶品。全 34 曲！2022 作。LOTSOO1CD）
*KITTY DONOHOE:The Irishman's Daughter Z
（アイルランド系アメリカ人三世で SSW の Kitty Donahou{ｳﾞｫｰｶﾙ､ｼﾀｰﾝ､ｷﾞﾀｰ､ﾋﾟｱﾉ}が自身のルーツであるアイルランドに夢を馳

せて創作された2017年作。トラッド曲と自作曲がほぼ半々。本場アイリッシュのツワモノ達を交えた演奏は申し分ない上にリルティングを披露するなどアイリッシュとして本物度が高い。全体の印象はKittyの美しくソフトなヴォーカル＆ハーモニーや思い入れの選曲などのためか、懐かしさや和む感じがする。w.Dennis Cahill,Maurice Lennon,Doug Berch,Cathy Ryan他。Roheen)

*AINE MINOGUE:Celtic Moon Y
(Lorrena Mckennitt風ケルティック･ハープ奏者でシンガーのAine Minogueの1997年と1998年のBMG音源からの編集ＣＤで全12曲。1997年収録7曲の内5曲はSolasのSeamus Egan{ﾌﾙｰﾄ、ﾎｲｯｽﾙ、ｷﾞﾀｰ、ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ}がサポート。夢想的ケルティック･ミュージック。2000作。BMG)

*KEVIN MADDEN:The Sugar Loaf Y
(1996年のAll-Irelandのフィドル部門のチャンピオンというマンチェスターのアイリッシュ・フィドラーの2014年リリースのデビュー・アルバム。それから幾年月。本作に聴くKevin Maddenのフィドル音楽{ｽﾛｰ･ｴｱｰ一曲以外はｱｲﾘｯｼｭ･ﾀﾞﾝｽ曲}は家庭で気心の知れた兄弟や友人と演奏することを楽しむかのような軽快なアイリッシュ・ダンス曲の連続。w.Mike McGoldrick{ﾌﾙｰﾄ},John Joe Kelly{ﾊﾞｳﾛﾝ},Gerry Conlon{ﾋﾟｱﾉ､ｱｺ},Bernie Roberts{ｺﾝｻｰﾃｨｰﾅ},Noely Ryan{ｷﾞﾀｰ},Tim Edey{ｷﾞﾀｰ},Pat O' Reilly{ﾌﾞｽﾞｰｷ}。Kevin Madden)

*NORAH RENDELL & BRIAN MILLER:Wait There Pretty One Y
(Outside Trackのヴォーカル＆フルートのNorah Rendellとギター奏者のBrian Millerの2007年作。Norahのシンギングは誠実で優しく、春の涼やかな風のように気持ちよい。ロバート･バーンズ収集の子守唄"Oh,Can Ye Sew Cushions?"で静かに幕。Two Tap)

*THE WILLIS CLAN:Chapter One - Roots Y
(Willis家の先祖はスコットランド系アイルランド人の移民で、米国に渡って来たのは17世紀初め。Willis家の兄弟姉妹6名から成るのWillis Clanの本作は、滅茶苦茶かっこいいアイリッシュ。変幻自在な手馴れた演奏は抜群のノリだし、Jessicaの軽やかなシンギングは滅茶苦茶キュート。2012作。Willis Clan)

*ANNA FALKENAU:Féileacán na Saoirse Y
(ドイツ人の女性アイリッシュ・フィドル奏者Anna Falkenauの2014年リリースのソロ・アルバム。アイルランドのシュリーヴ・ルークラのフィドル・ミュージックと米国のオールド・タイム・ミュージックとをまるで同じ国の伝統音楽のように古臭さを楽しむように演奏する。ゲスト：Ged Foley,Mary Shannon,Kevin Hough,Lena Ullman,Holly Geraghty,Steve Sweeney,Johnny 'Ringo' McDonagh。Scroll)

*PAUDIE CONNORS & JOHN O'BRIEN:Wind & Reed Y
(ケリー出身のアコ奏者Paudieとダブリン出身のイリアン･パイプス奏者によるアコとパイプによるアイリッシュ。リズム･パートはJim Murrayが担当。事実上J.Murrayも加えたトリオの音楽。アコもパイプもギターもよくうたい、踊る。2008作。PBCD1976)

*PADRAIGIN NI UALLACHAIN:Let The Fairies In Y
(Len Grahamの奥様Padraiginの本作は、1994年に発売された幼児向け「子守歌」を中心にした名作"A Stor Is A Stoirin"の姉妹

アルバム。これはもう夢の世界。w.Donal O'Connor,Steve Cooney,Garry O Briain,Ronan Browne,Tommy Hayes,Odhran O Casaide。全 11 曲。2012 作。Ceoltai Eireann)

*BAIDIN FHEIDHLIMI - Gael Linn Singles 1968-1980 Y
(Johnstons,Sean O Se,Ro-og Breandan O Duill&Skara Brae, Triona Ni Dhomhnaill,Maighread Ni Dhomhnaill,Michael O Domhnaill&Donal Lunny,Dermot O'Brien 他。Gael Linn の稀少音源からの全 20 トラック。2013 作。Gael Linn)

*GERRY O'CONNOR:Time To Time Y
(Four Men & A Dog のバンジョー奏者の Gerry O'Connor の 1991 年作。バンジョーをフィーチャーした天下一品のアイリッシュ。w.Bill Whelan,Brendan O'Regan,Tommy Hayes,Mairtin O'Connor,Steve Cooney,Camilla Dorcey,Maunus Lunny。CD-R。Mulligan)

[CD+CD-ROM/ＩＲＥＬＡＮＤ]

*AMHRAN IS FICHE DON NOLLAIG A
(CD と CD-ROM の一枚セット。CD はアルタンの Mairéad Ní Mhaonaigh と Seamus Begley の妹の Méabh Ní Bheaglaoich と Líadan の Síle Denvir の三人の女性シンガーによる 21 曲収録のアイルランドのクリスマス･ソング集。ゲール語地域の異なる三人の歌姫の唄は、全曲ギターの伴奏で、それぞれの地域のゲール語。CD-ROM はゲール語の歌詞、英語の歌詞、カラオケでの唄のレッスン等など。2009 作。Fios Feasa)

[CD/ＵＳＡ{Celtic,Trad}]

*TODD MENTON:Where Will You Land Y
(元 Boiled In Lead の Todd Menton の 2003 年作。ブリティッシュ･トラッドもアイリッシュもアメリカン･フォークも船乗りの唄も向かう姿勢はルーツ志向。粗野なトラッドからパワフルなフォーク･ロックまで縦横無尽。2003 作。New Folk)

[CD/ＣＡＮＡＤＡ{Celtic,Trad}]

*FIGGY DUFF:After The Tempest Z
(歌姫 Pamela Morgan を擁するニューファンドランドのエレクトリック･トラッド･バンドの Figgy Duff の 1997 年作。カナダの Steeleye Span とも評された彼らのアイリッシュを交えたトラッドは今聴いても新鮮。Amber Music)

[CD/ＡＵＳＴＲＡＬＩＡ]

*JEFF LANG:Half Seas Over Y
(職人技的アコースティック･ギター＆ドブロ奏者としても名高い SSW の Jeff Lang の 2008 年作。ブルースを基調にしつつ英米トラッドをも取り込んだルーツ志向の唄とギターは深みがあって孤高。Furey)

[CD/ＬＡＰＬＡＮＤ{Yoik}]

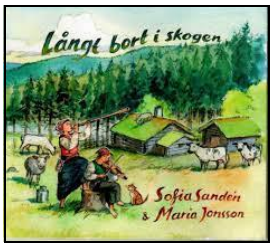
*WIMME & RINNE:Human A
(ヨイク･シンガーの Wimme Saari とクラリネット奏者の Tapani Rinne のコラボ･アルバム。二曲でノドをふるわす Elie Sofe

Henriksen の奄美か沖縄の島唄の唄者のような古老風ヨイクで幕開けする本作は、発売時も今もヨイク最前線の音楽。ユニークなのは、クレジットされている楽器以外のリズム音や擬音などの不思議な効果音が施されていて、太古のヨイクの世界へと誘う感覚に襲われる。二人にしか創作できないラディカルなヨイクの世界だ。2017 作。RockAdillo)

*JOHAN ANDERS BAER:Guovssu Y

(サーミ人ヨイク・シンガーのヨハン・アンダース・ベアの 1997 年作。彼は伝統的なヨイクの歌唱法を維持しながら、新たにロックやジャズなど現代的な音楽的手法を取り入れて、オリジナルなヨイク音楽を創作。ヨイクの朗唱にはブレがなく、多彩な音楽性の中で、彼のヨイクは水を得た魚のように生き生きとしている。気分はラップランドのトナカイ飼い。DAT)

[CD/SWEDEN]



(Sofia & Maria)

*SOFIA SANDEN & MARIA JONSSON:Långt Bort I Skogen C

(Ranarim の Sofia Sanden と Ian Carr の妻でスウェーデン屈指のヴィオラ奏者の Maria Johnsson のデュオ・アルバム。Tone Hulbækmo の名盤"Langt Nord I Skogen"「遠く離れた北の森の中」と一字違いのタイトルを見て、直感的に期待。緑の牧草地で片やフィドルを弾き片や長い木製縦笛を吹く二人の女性のジャケットを開くと、牧草地で働く夫人達のセピア色した写真。二人はヴィオラを含めた各種擦弦楽器に加えて、牧草地帯発祥の伝統的な縦笛のスピラピマや口琴、ギター、ピアノ等を演奏し、ソロとヴォーカル・ハーモニーで、北欧の牧草地の、ある種メルヘンティックな民謡の世界へと誘う。カウニングと呼ばれる家畜を呼び寄せるためのシンギングを含め Sofia のシンギングは絶品。直感ズバリの素晴らしさ。ゲスト:Ian Carr。2018 作。Dalakollektivet)

*ULRIKA BODEN & SOFIA SANDEN:Sångsystrar C

(共に Ranarim のヴォーカルでスウェーデンを代表するトラッドの歌姫の Ulrika Boden と Sofia Sanden のヴォーカル・デュエット・アルバム。二人はアルバム・タイトルの「うたう姉妹」よろしく最良のソロで、また最良のデュエットで人生と闇、喜びと悲しみなどの思いが込められたスウェーデンの民謡をうたう。ゲスト伴奏者はコントラバス＆アコースティック・ベースの Patrik Grundström のみだが、Ulrika と Sofia が奏でるダルシマー、オートハープ、ヴィオラ・ダモーレ等を含む伴奏は、控えめながら独創的なトラッド・サウンドを奏でかつ、二人のシンギングと一体化していてお見事。2022 作。Dalakollektivet)

*LJUS OCH LYKTA:Ljus Och lykta B

(三姫一太郎の四人組トラッド・バンド"Ljus Och lykta"{光とランタンの意}の爽快デビュー・アルバム。四人全員がヴォーカル

を務め、リード・シンガー格の一人の Klara Ekman は Lena Willemark のコンサートを観たのがきっかけでスウェーデンのトラッドに傾倒したという。曲目のほとんどはスウェーデン舞台芸術庁のアーカイブのコレクションで見つけ出したトラッド曲だそうだが、彼らは若々しく自由闊達なソロ・シンギング＆ポリフォニックなハーモニーで数々の伝統歌を生き返らす。伴奏楽器がフィドルとギターというのが功を奏していて、特にフィドルのスウェーデンのトラッドの香り立つ演奏が良い感じでトラッド色を高めている。すこぶるフレッシュな北欧トラッド。2022 年。Caprice)

*AHLBERG,EK & ROSWALL:Vintern Z

(Ranarim のメンバーでスウェーデンを代表するニッケルハルパ奏者の Niklas Roswall と女性フィドル奏者の Emma Ahlberg とギター奏者の Daniel Ek のトリオによる 2012 年作。彼ら三人はダンスのライヴで意気投合し、一緒に活動することになったという。Niklas の緩急自在かつドラマティックかつ気高くかつ優美なニッケルハルパの「うたい、舞う」演奏を聴けば、彼が今、このトリオの演奏を心から楽しんでいるかがよくわかる。共演し、響演し合う他の二人の演奏も最高にうたい、舞っている。Westpark)

*ÅSA JINDER:Stilla Ro Och Nara Z

(15 歳で最年少チャンピオン・フィドラーになったÅsa Jinder 嬢の 1988 年作。全曲バンド編成で彼女が奏でるニッケルハルパをフィーチャーしたアルバム。洗練されたサウンドが心地よい。Eagle)

*ÅSA JINDER:Tio Ar Som Riksspelman Z

(ニッケルハルパ奏者Åsa Jinder 嬢の 1979 年～1988 年に発表されたアルバムからのベスト盤。全 12 曲。1980 年代、ニッケルハープ奏者と言えば、Åsa Jinder だった。Eagle)

*KEBNEKAJSE:Electric Mountain Y

(スウェーデンのフォーク・ロック・バンドの Kebnekajse の 1993 年作。"Kebnekajse"{1973 年}から 5 曲と"III"{1975 年}から 4 曲に 1976 年～1977 年の冬に収録した未発表曲二曲を加えた編集盤。11 曲中 10 曲がトラッド曲で、北欧フォーク・ロック・バンドの先がけバンドとして北欧トラッドのロック化に果敢に挑んでいる。Resource)

*NARA:Om Y

(Nara は元 Gunnfjauns Kapell でゴトランド出身の女性トラッド・シンガーの Gunnel Mauritzson とストックホルム出身でヴェテラン・フィドル奏者の Bjorn Stabi とヴェテラン・アコ奏者の Bengan Janson のトリオ。彼らはゴトランドのトラッドほかスウェーデン各地の伝承歌をスウェーデンのトラッドの芳香薫るシンギングと音楽で魅了する。絶品。2006 作。Caprice)

[CD/ＮＯＲＷＡＹ]

*VESLEMOY SOLBERG:The Strength Of The Runes A

(レコード会社 Nordicae のオーナーでノルウェーを代表するシンガーで作曲家のヴェスレモイ・ソルベルグの 1996 年作の二枚目。本作は北欧の中世のバラッドに焦点を当てたアルバムで、ロッキン・トラッドとでも呼びたい、女性シンガーを擁するロック・バンドがロックの域を超えて、華麗に柔軟に豪放にトラッドを

演唱。本作発表後彼女は 1997 年から 2003 年にかけて、NRK1 のテレビ・シリーズ『Antikviteter & Snurrepiperier』の音楽を担当し、2011 年にブスケルー県の年間最優秀アーティストに選ばれている。英語解説付。Nordicae)

*HJARTEGANGAR:Lydarspel,Brureslatter Og Songer,
I Tradisjon Og Nyskaping Y
(Sinnikka Langeland{ヴォーカル、カンテレ}、Knut Buen{ハルディングフェーレ}、Kare Nordstoga{オルガン}による結婚式音楽等の伝統音楽。Sinnikka Langeland のシンギングが冴え渡る。Kare Nordstoga はオスロ大聖堂の元オルガン奏者。全 17 曲。2006 作。Nyrenning)

*ANNLAUG:November Y
(ノルウェイの女性ＳＳＷでフィドル奏者の Annlaug の 2010 年作。Mattie Foulds,Steven Polwart,Kevin McGuire,Inge Thomson に加えて Anna Massie,Martin Green,Aidan O'Rourke 等スコティッシュ・トラッド・シーン屈指のミュージシャンのバックアップで制作された本作は先進感のあるケルティック・サウンドのもと、Annlaug 嬢の北欧的に夢うつつなヴォーカルが心地良い。ケルティックな中に北欧感がある。特に二曲のノルウェーの子守唄は聴き惚れ。Fivreld)。※ブックレットの表裏表紙が経年劣化気味)

[CD/ＬＩＴＨＵＡＮＩＡ]

*AGOTA:Kur Giria Užėjo B
(女性ヴォーカル・グループ"Sen Svaja"の Agota Zdanavičiūtėの初ソロ・アルバム。本作は Agota が薬剤師、民族誌学者、薬草学者そして魔術師として有名な Eugenija Šimkūnaitė{1920-1996}のおとぎ話にインスパイヤーされて創作したもの。リトアニアの民族楽器の Kanklės{カンクレス。カンテレと同類の撥弦楽器}を爪弾きながらうたう Agota は、まるで森の精か森の妖精。その唄は子守唄のようでもあり、不思議な呪文の唄のようでもるが、その上に小鳥のさえずりや水の音も聞こえて、まるで森の中で何か不思議な夢でも見てるかのような気分になる摩訶不思議なフォーク・アルバム。そのおとぎ話的不思議さは Donovan の"HMS"クラス。2022 作。Dangus)

[CD/ＥＳＴＯＮＩＡ]

*KART JOHANSON:Seitse Une Nagu Y
(ストーリーテラーで女優の Kart Johanson が 2000 年以上の歴史を持つと言われているルーン・ソングをうたったもの。Kart のシンギングはハミングのようだったり、意味不明な言葉遊びや呪文のような唄だったり、賛美歌のようだったり、不思議不思議。2004 作。Arm Music)

[CD/BELGIUM,FLANDERS]

*FARAN FLAD:Maiden Voyage Y
(Kadril の"The Other Shore"でヴォーカルを担当した英国人女性シンガーの Heather Grabham がリード・ヴォーカルの英国人、フランダース人混成のアイリッシュ系トラッド・バンド。70 年代ブリティッシュ・フォーク・シンガー・タイプの Heather の美味ヴォーカルをフィーチャーしたアイリッシュはアイリッシュ風ブ

リティッシュ･フォークでほんわかと魅力的。唄もサウンドもフレッシュで美味。2010 作。Wild Boar Music)

[CD/ＧＥＲＭＡＮＹ]

*OUGENWEIDE:Ungezwungen A
(歌姫 Minne Graw を要したドイツのトラッド･ロック･バンドの Ougenweide の 1977 年のドイツ･ツアーのライヴ。オリジルＬＰは二枚組。Steeleye や Fairport の刺激を受けて、当時のトラッドのロック化の動きの中で創出された奇跡のドイツ発ユーロトラッド･ロック。1997 年/2007 作。Bear Family)

*SHEEVON:Emotions Y
(1980 年代初めから活動するアイリッシュ系トラッド/フォーク･グループの Sheevon の 1987 年作の三枚目。ゲール語の唄を含む彼らのアイリッシュ＆ケルティック系音楽は、アイリッシュ＆ケルティック音楽の魅力満載。メムバーはアイリッシュに夢中の男女のヴォーカルを含む七人編成。唄やセッション･ミュージックが熱く繰り広げられて、清々しい。彼らは現在も活動中。Errigal)

[CD/ＦＲＡＮＣＥ]

*ブルターニュの民俗舞踊曲集 A
(直輸入国内盤。ミニ解説;江波戸昭。原題"Danses De Bretagne"。Keltia Musique/ミュージック東京)

[CD/ＰＯＬＡＮＤ]

*STARA LIPA:Vivum B
(可憐な歌姫 Agnieszka Zdanikowska を要したポーランドのトラッド･バンドの Stara Lipa の 2001 年作。彼らの音楽はポーランドのトラッドを中心に北欧～南欧にまで及ぶいわば汎ユーロ･トラッド。ヨーロピアン･リリシズム＆ロマンティシズムを漂わす中世･ルネサンス音楽風トラッドは Agnieszka 嬢の清らかなシンギングと共にの滅茶苦茶魅力的。使用楽器はスクジピカ{ポーランドのヴァイオリン}、サズ、プサルテリー、ハーディガーディ、フルート、オカリナ、パーカッション、口琴他。Orange World)

[CD/ＰＯＲＴＵＧＡＬ]

*SEIVA:SEIVA Y
(ポルトガルのフォーク･シーンで最も影響力のある Joana Negrao {ヴォーカル、ガイタ、パーカッション}の二人がパーカッション奏者の Rita Novoa を加えて結成した Seiva の 2015 年のデビュー作。数々の口承伝承の曲{主にポルトガル東部}の音楽的ルーツを探求して生まれた音楽は、大地の音を響かせ、Joanna のヴォーカルは民俗色を強めてパワフル。驚きのグループだ。2015 作。Galileo)

[CD/ＳＰＡＩＮ]

*FOLK ON CREST:Calle De La Botica Y
(Folk On Cres は歌姫 Yolanda Rio を擁するサラマンカの五人組トラッド･バンド。サラマンカのダンス曲「ムイニェラ」{ガリシアでポピュラーなダンス曲}そしてアストゥーリアスのトラッド曲でケルティックに幕開けする本作は、主にサラマンカのトラッド曲

を各種民族楽器を駆使し、ケルト圏の若者がトラッドを演奏するように生き生きとサラマンカのトラッドを創出。コブシの利いたYolanda Rio のヴォーカルも魅力。2011 作。Several。※本作は二枚目だが、これまでに五枚のアルバムを発表。2021 年作の"soMos"はで最優秀フォーク・アルバムに輝いている。

[CD/ＩＴＡＬＹ]

*BELLITAMBURI:Danza E Danza Y
(ゲスアルド・ダ・ヴェノーザ"音楽院で電気音響音楽を専攻したというSSW てギター奏者の Antonio Bruno 率いる四人組。楽器編成がギター、シンセ、サックス、パーカッション、ベース、メロトロン。アラブ＝地中海音楽を掘り下げて、好きに自己流音楽を創作したかのような超エスニック・ミュージック。ケルティックやジャズやロックの要素も。Antonio Bruno は鬼才かつ天才。今もイタリア及び世界で活躍中。2007 作。CNI)

*BANDABRISCA:Io Ballo Brisco Y
(1995 年結成の北イタリアの 7 人編成トラッド・バンドの BandaBrisca のライヴ盤。楽器編成はギター、アコ、ヴァイオリン、フルート、サックス、ベース、マンドリンそしてダブルリードのピッフェロ。ピッフェロやアコがリズムを取る優雅なダンス曲は中世の街角で聞こえてきそうな楽しげなダンス音楽の趣。彼らは本来ダンス・バンドなのだろうが、男性トリオによるアカペラも素晴らしい。2010 作。FolkClub EthnoSuoni)

*N.C.C.P.:Teatrante Y
(主に 1992 年以降の音源から編纂されたベスト・アルバム。全 11 曲。情熱的でアラブ色濃い男女のヴォーカル及びコーラスそして地中海音楽濃厚な N.C.C.P. ならではの熱いイタリア南部のトラッドが堪能できる。2001 作。CGD East West)

[CD/ＲＵＳＳＩＡ]

*DMITRI POKROVSKY ENSEMBLE
:Gesichter Russlands - Face Of Russia Z
(素晴らしいロシア各地の民謡集。ドミトリ・ポクロフスキー等がロシア各地を旅して収集した民謡は 2000 曲。彼らは各地の民謡を民俗色豊かに男女のソロ＆合唱と時に民族楽器で生き生きと蘇生する。多彩さではブルガリアン合唱を超えている。全 16 曲。英語解説付。1991 作。Trikont)

*INNA ZHELANNAYA:Izvorot Z
(二枚組。本作で Inna と彼女のバンドは、ロシア各地の民謡をラディカルにロック化。彼女独特な混沌として暗鬱なロシアン・トラッドは、スウェーデンの革新的トラッドと通じ合う土俗性を保持。2014 作。Inna Zhelannaya)

[CD/ＨＵＮＧＡＲＹ]

*LUNKA JOZSEF:Peterlaki Bandavezeto A
(マロス地方のマジャールペテルラカはハンガリー音楽の中心地。本作はその地で 1979 年から 1982 年にかけて行われたフィールド・レコーディングで、主役は当時その地で名演奏家として知られた Lunka Josef{1918～1982 年}。ツィンバロンやベースや唄が入る曲もあるが、Lunka Albert とのヴァイオリンの共演をベース

にした音楽はハンガリーの民俗音楽のエッセンスが詰まった見事な演奏集。収録者は本作が未来の世代に受け継がれることへの期待を記している。英語解説付。全 24 曲。2006 作。FolkEuropa)

[CD/ＢＵＲＧＡＲＩＡ]

*ソフィア女声合唱団:ブルガリア（25 人の瞳） A
(直輸入国内盤。解説:江波戸昭。原題"Le Chant Des Femmes Bulgares"。1988 作。Aubidis/ミュージック東京)

[CD/KLEZMER,GYPSY,BALKAN 他]

*AMIR PERELMAN:Prayers Beyond Words A
(イスラエルのブズーキー＆チェロ奏者と彼の仲間による中近東～オリエンタル･ムードたっぷりな音楽。共演楽器はヴァイオリン、ピアノ、クラリネット、パーカッション。彼らのエキゾティックな音楽は質感が豊かで、悠久感があり瞑想的でスピリチュアル。夢で古代ペルシャを旅する気分だろうか。2009 作。Magda)

[CD/ＴＵＲＫＥＹ]

*IBRAHIM TATLISES:Söylim Mi? A
(アラベスク{アラブ歌謡}の大スター Ibrahim Tatlise{イブラヒム･タトリセス}が 1990 年 11 月 26 日にタトリセス･プラクからリリースしたアルバム。トルコ大衆音楽界のトップとして現在まで君臨)

[CD/ＧＵＩＮＥＡ]

*MAMA DIABATE:Koffi Cola Na Yo Y
(ギニアのファラナ出身のグリーオでマルチ楽器奏者の Mama Diabate の 1993 年作。バラフォンやベースギターやパーカッションなどによる彩りのあるリズミカルな音楽と Mama Diabate のヴォーカル＆Mama Diabate による掛け合いのバッキング･ヴォーカルは西アフリカのグリーオ＆マンディング音楽の魅力を軽やかに創作。バラフォンのコロコロしたサウンドが何とも心地よい。心はギニアの小さな村へ。Popular African Music)

[CD/ＡＲＧＥＮＴＩＮＥ]

*現代の吟遊詩人
～セバスチアン･ソリスのコンドルは飛んで行く A
(直輸入国内盤。ミニ解説:江波戸昭。原題"From Cuba To Tierra Del Fuego"。ARC Music/ミュージック東京)

[ＶＩＤＥＯ]

[VIDEO{NTSC}/USA]

*EMMYLOU HARRIS:Spyboy(54 分。Eminent) Z
*CELTIC TUNES FOR HAMMER DULCIMER Z
(ハンマーダルシマー･レッスン･ヴィデオ。Taught by Walt Michael。添付資料のホッチキスがサビています。1990 作。Homespun Tapes)

[VIDEO{NTSC}/UK]

*RALPH McTELL:Live At The Town Hall Z
(1998 年 Croydon Town Hall でのライヴ。全 19 曲。Leola Music)

[VIDEO{PAL}/UK]
*THE WHISKY PRIESTS:Here Come The Ranting-Live Y
(1998 年ドイツのハンブルグでのライヴ。59 分。Whippet)

[VIDEO{PAL}/Ireland]
*CHRISTY MOORE:Christy(全 23 曲。54 分。1995 作。Sony Music) A
*THE DUBLIN SUITE X
(ダブリンの一日。音楽はジャズ・ミュージシャンの Robert Lamb 作曲の曲を Robert Lamb 指揮が指揮する RTE コンサート・オーケストラ。25 分 3 秒。1988 作。RTE)

[VIDEO{NTSC}/Ireland]
*DOLORES KEANE:In Concert C
(ゲスト:John Faulkner。全 11 曲。2001 年。Apollo Video)

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
その他色々(CD-R は音質検査済み)
☆ ☆ ☆ ☆ ☆

[ＣＤ]
(サンプル CD{ライコ・ワールド・エスニック・シリーズ})
*ウスタッド・スルタンカーンサーランギ
～北インドの古典音楽 Y
(解説:荒川龍彦。ブックレット右隅に小さな穴のある見本盤。1988 作。MSI)
*ババトゥンデ・オラトゥンジの神への祈り
～西アフリカ・ヨルバ族の太鼓 Y
(解説:荒川龍彦。ブックレット右隅に小さな穴のある見本盤。1988 作。MSI)
*ゴールデン・ゲイト・ジプシー・オーケストラ
:旅するユダヤの結婚式 Y
(解説:荒川龍彦。ブックレット右隅に小さな穴のある見本盤。1988 作。MSI)
*ディガ・リズム・バンド:サンフランシスコのインド音楽 Y
(解説:荒川龍彦。ブックレット右隅に小さな穴のある見本盤。1988 作。MSI)

(CD/USA)
*RY COODER & V.M.BHATT:A Meeting By The River C
(1993 作。Water Lily Acoustics)
*JACK HARDY:Omens(2000 作。Prime CD) B
*CRAIG NUTTYCOMBE:Planetorial Janitor A
(1997 作。Craig Nuttycombe)
*CRAIG NUTTYCOMBE:My Own Beat A
(2003 作。Craig Nuttycombe)
*ERIC TAYLOR:Seuffletown(2001 作。Eminent) A
*JEB LIPSON:Patina(2013 作。Rankoutsider) A
*DIANA JONES:High Atmosphere(2001 作。Proper) A
*TARA NEVINS:Wood And Stone Z
(リヴォン・ヘルムのスタジオ録音。ゲスト:Levon Helm,Teresa

Williams,Jim Lauderdale,Allison Moorer。2011 作。Sugar Hill)
*JOHN SEBASTIAN:King Biscuit Flower Hour Z
(1979 年のライヴ。King Biscuit Flower Hour)
*CLAUDIA SCHMIDT:New Whirled Order Z
(2014 作。Red House)
*CARTIE CURTIS:Hello Stranger(2009 作。Compass) Z
*STORYHILL:Shade Of The Tree(2010 作。Red House) Z
*RAY WYLIE HUBBARD:A.Enlightenment B Endarkenment Y
(2010 作。Bordello)
*SUGARCANE JANE:Southern State Of Mind Y
(2018 作。Arena))
*NITTY GRITTY DIRT BAND:Dream(1996 作。BGO) Y
*SALAMANDER CROSSING:Bottleneck Dreams Y
(1998 作。Signature Sounds)
*JIM CROCE:I Got A Name(ベスト盤。1994 作。Canada EMI) Y
*TRAMP:Put A Record On Y
(ゲスト:Mick Fleetwood,Jo-Ann Kelly,Dave Kelly。1991 作。
Appaloosa)
*MARIA MULDAUR:Meet Me At Midnite Y
(1994 作。Black Top)
*MARIA MULDAUR:Fanning The Flames Y
(ゲスト:Bonnie Raitt,Sonny Landress,Huey Lewis1。1996 作。
Black Top)
*LINCOLN DURHAM:Theshovel[vs]thehowlingbones Y
(Produced by Ray Wylie Hubbard。2012 作。Blue Rose)
*ROBIN & LINDA WILLIAMS:Live In Holland Y
(1992 作。Strictly Country)
*CHUCK PYLE:Camel Rock(1995 作。Bee'n'Flower Music) Y
*DAVID OLNEY:The Wheel(2003 作。Roudhouse) X
*COSY SHERIDAN:Quietly Led(1992 作。Waterbug) X
*VARNALINE:Sweet Life(1998 作。Zero Hour) X
*JAMES LEE STANLEY:Ripe Four Distraction X
(1990 作。Beachwood)
*EUROPEAN WORLD OF BLUEGRASS 2006 X
(2006 作。Strictly Country)
*SKYLAND:Moon Over The Water X
(2003 作。Strictly Country)
*HAYSEED DIXIE:A Hillbilly Tribute To AC/DC X
(2001 作。Dualtone)
*MICHAEL DE JONG:The Great Illusion(2006 作。MW) X
*HOUNDS OF FINN:Songs Of Men In Boats X
(2010 作。New Folk)
*ERIC MATTHEWS:It's Heavy In Here(1995 作。Sub Pop) X

(中古 CD/USA)
*STEINAR ALBRIGTSEN & TOM PACHECO:Big Storm Comin' A
(新品同様。1993 作。Round Tower)
*STEINAR ALBRIGTSEN & TOM PACHECO:Nobodies A
(CD-R。新品同様。2000 作。自主制作盤)
*ROMI MAYES:Achin In Yer Bones A

(新品同様。Produced by Gurf Morlix。2009 作。Continental)
*LARRY JOHN MCNALLY:Vibrolux A
(新品同様。1995 作。Dig It/Music & Words)
*TOM RUSSELL:Box Of Visions Y
(新品同様。1993 作。Stony Plain)
*ANNIE GALLIP:Little Five Points(2012 作。Waterbug) X

(サンプル CD/USA)
*LOUDON WAINWRIGHT III:Last Man On Earth X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2001 作。
Red House)
*ERIN CORDAY:Secret About The World X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1995 作。
Waterbug)
*MOHEAD:Son Of The South X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2018 作。
Continental)
*DAVID ROTH:Irreconcilable Similarities X
(ブックレットの右下端がカットされたほぼ新品のサンプル盤。
1999 作。Wind River)
*SLOAN WAINWRIGHT:From Where You Are X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1998 作。
Waterbug)
*JONATHAN BYRD:Wildflowers X
(バーコードがマジックでけされたほぼ新品のサンプル盤。
2000 作。Jonathan Byrd)
*ERIC DARLING:Child,Child X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2000 作。
Wind River)
*MARK DVORAK:Every Step Of The Way X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2005 作。
Waterbug)

(CD/USA{Trad,Celtic})
*LONG TIME COURTING:Alternate Routes X
(Ariel Friedman{cello,vocal},Liz Simmon{guitar,vocal},
Shannon Heatonflute,whistle,vocal},Sarah Blair{fiddle,
vocal},with Matt Heaton{bouzouki。2000 作？自主制作盤)

(CD/UK)
*RORY McLEOD:Mouth To Mouth(二枚組。2000 作。Talkative) B
*IAIN MATTHEWS:The Seattle Years 1978-1984 B
(1996 作。Varese Sarabande)
*DONOVAN:The Classics Live(1991 作。Great Northern Arts) B
*RONNIE LANE:See Me(1986 作。Edsel) B
*HENRY McCULLOUGH:Hell Of A Record(1988 作。Line Music) B
*CATHERINE HOWE:Because Z
(w.Ric Sanders,Vo Fletcher,Michael Gregory。2015 作。
Talking Elephant)
*MAGNA CARTA:State Of The Art Z

(結成25周年記念ライヴ･アルバム。1994作。Hypertension)
*ALISON O'DONNELL:Exotic Masks And Sensible Shoes Z
(2019作。Floating World)
*MARY HAMPTON:My Mother's Children Z
(2008作。Navigator)
*PAUL MILLNS:Unsung Heroes Z
(Produced by Nigel Portman-Smith。1997作。The Folk Corp)
*CHRIS WHILE:Look At Me Now(1994作。Fat Cat) Y
*JULIE FELIX:Rock Me Goddes Y
(2018作。Talking Elephant)
*IAN SIEGAL & THE YOUNGEST SONS:The Skinny Y
*JENNIFER CROOK:Carnforth Station Y
(2014作。Transatlantic Roots)
*ROGER MORRIS:Beholder(2004作の三枚目。Roger Morris) Y
*JOAN ARMATRADING:Into The Blues X
(2007作。Hypertension)
*EDD DONOVAN:Something To Tale The Edge Off X
(2013作。Paper Label)

(中古CD/UK)
*DONOVAN:Greatest Hits Live A
(ほぼ新品。1986年カナダでのライヴ。2001作。Varese Sarabande)

(サンプルCD/UK)
*DONOVAN:The Classics Live Y
(ブックレットの右上端に小さな穴のあいたほぼ新品のサンプル
盤。1991作。Great Northern Arts。※サンプル盤とお書き下さい)

(CD/England)
*MARTIN CARTHY:Right Of Passage(1988作。Topic) A
*JOHN KIRKPATRICK:Sheepskins(1998年/1993作。MW) A
*JOHN KIRKPATRICK:Mazurka Berserker(2001作。Fledg'ling) A
*JOHN KIRKPATRICK:Orlandos Return A
(副題"53 English Traditional Tunes"。2003作。Mally)
*JEZ LOWE:Tenderhooks(1995作。Green Linnet) A
*GRACE NOTES:Red Wine & Promises(1988作。Fellside) A
*CHRIS WOOD･JEAN FRANCOIS VROD:Crossing(1999作。RUF) A
*BOB FOX:Dream Never Leave You A
(w.Faiport Convention。2000作。Woodworm)
*THE JOHNSTONS:Give A Damn/Bitter Green A
(1997作。Castle Communications)
*ELIZA CARTHY･TIM ERIKSEN:Bottle(2015作。Navigator) Z
*THE OLD HAT DANCE BAND:Mellophone Z
(Chris Wood,Barry Coope他七人組。1992作。Old Hat Music
*ANDREW CRONSHAW:Ochre(2004作。Cloud Valley) Z
*CRUCIBLE:Love & Money(2008作。Fellside) Y
*GREG RUSSELL:Inclined To Be Red(2017作。Fellside) Y
*TIM VAN EYKEN:Stiff Holymen Thieves(2006作。Topic) Y
*CIARAN ALGAR:The Final Waltz(2016作。Fellside) Y
*PAT SHAW & JULIE MATTHEWS:Lies And Alibis X

(Produced by Clive Gregson。1996 作。Fat Cat)
*FAYE ROCHELLE:Reflections(2000 作。Offspring) X
*TICKLED PINK:Terpsichore Polytymnia X
(2005 作。Talking Elephant)
*IAN KING:Panic Grass & Fever Few(2009 作。Fledg'ling) X

(中古 CD+DVD/England)
*STEELEYE SPAN:In Concert B
(新品同様。"A previously unreleased Audio CD and full Length DVD concert film"。2002 作。Crassic Rock)

(サンプル CD/England)
*THE LIFE AND MUSICOF RICHARD THOMPSON D
(ＣＤ－Ｒ仕様 5 枚組ボックスセット。ブックレットはなくカラープリント曲目リスト付。2006 作。Free Reed)
*ROBIN & BARRY DRANSFIELDS:Up To Now Y
(在庫多数。ブックレットの表紙はなく必要最小限の情報。トレイ{裏ジャケ}は正規盤と同じ。Robin & Baryy Dransfied 兄弟の 1970 年代の音源からの二枚組編集盤。未発表曲 11 曲を含む全 39 曲。1997 年。Free Reed)

(CD/Scotland)
*BATTLEFIELD BAND:At The Front A
(台風被害商品で裏ジャケットに僅かに雨染み。1978 年。1994 作。Temple)
*TANNAHILL WEAVERS:Cullen Bay(1990 作。Green Linnet) A
*MACKENZIE:Fama Clamosa A
(Fiona,Eilidh and Gillian Mackenzie 姉妹。2002 作。Macmeanmna)
*ALY BAIN & ALE MOLLER:Beyond The Stacks A
(2007 作。Whirlie)
*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS Volume 8 A
(全 25 曲。2000 作。Linn)
*THE LEGEND OF EWAN MacCOL(全 28 曲。1995 作。Nector) Z
*IAN F.BENZIE:So Far(1995 作。Lochshore)
*OLD BLIND DOGS:Fit?(2001 作。Green Linnet) Z
*TARRAS:Walking Down Mainstreet(2001 作。Topic) Z
*IAIN MacDONALD･IAIN MacFARLANE:The First Harvest Z
(2002 作。Roshven)
*COLUM & RORY MacDONALD:The Band From Rockall Z
(2012 作。Ridge)
*NEW CELESTE:It's A New Day(1996 作。Iona) Y
*MARY SMITH:Sgiath Airgid(2004 作。Macmeanmna) Y
*ALASTAIR McDONALD:Velvet & Steel(1995 作。Greentrax) X
*ALASTAIR McDONALD:Honest Poverty(1996 作。Lismor) X
*THE MICK WEST BAND:Right Side O' The People... X
(1997 作。Lochshore)
*HIGHLAND CONNECTION:Gaining Ground(1994 作。Greentrax) X
*THE HUMPFF FAMILY:Mothers(1992 作。Iona) X
*VARIOUS ARTISTS:Harps,Pipes & Fiddles(2000 作。Temple) X
*CAULD BLAST ORCHESTRA:Savage Dance(1990 作。Eclectic) X

*THE BALTIMORE CONSORT:On The Banks Of Elicon X
(副題"Early Music Of Scotland"。1990 作。Dorian)

(サンプル CD/Scotland)
*CAPERCAILLIE:Delirium X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。1991 作。
Green Linnet)
*OLD BLIND DOGS:Whenever Yet May Be X
(バーコードがマジックでけされたほぼ新品のサンプル盤。
2010 作。Compass)
*ROBIN LAING:Imaginary Lines X
(ジャケット裏に英語で"Promotional Copy Not For Sale"のシ
ールが貼られたほぼ新品のサンプル盤。1999 作。Greentrax)

(CD/Wales)
*CALAN:Deg | 10(2018 作。Sain) A

(CD/Ireland 他)
*NIAMH DUNNE:Portraits(2013 作。Niamh Dunne) B
*BOYS OF THE LOUGH:Lonesome Blues And Dancing Shoes B
(2002 作。Lough)
*TONY MacMAHON:MacMahon From Clare(2000 作。MacMahon) B
*CRAOBH RUA:If Ida Been Here,Ida Been There A
(2000 作。Lochshore)
*AT THE RACKET:Mirth-making Heroes(2001 作。Racket) A
*SHAUNA MULLIN:Wishing Tree A
(Paddy Tunney が大叔父の女性トラッド･シンガーの Shauna
Mullin の 2010 年作。Dolores Keane を想起させる豊かなシンギン
グは格の違いを見せつける。Shauna Mullin)
*FUTURE TRAD COLLECTIVE:Future Trad Collective Z
(Michael McGoldrick,Ian Fletcher,Andy Dinan のバンド。
2010 作。Vertical)
*JOHN McSHERRY･TYLER DUNCAN･MICHAEL SHIMMIN:The Olllam Z
(2012 作。Compass)
*THE TIN SANDWICHBAND:By Hook Or By Crook Z
(John & Pip Murphy,Benny McCarthy,Donal Clancy の四人組。
2012 作)
*ALTAN:Harvest Storm(1992 作。Green Linnet) Z
*JOHN WILLIAMS & DEAN MAGRAW:Raven(2006 作。Compass) Z
*HELEN ROCHE:Shake The Blossom Early Z
(副題"Love Songs From The Irish Tradition"。2004 作。HRCH2323)
*KILFENORA CEILI BAND:Live In Lisdoonvarna Z
(2002 作。Dolphin)
*SOCKS IN THE FRYING PAN:Socks In The Frying Pan Z
(2012 作。Socks In The Frying Pan)
*THOM MOORE:Gorgeous & Bright Z
(ゲスト:Mary Black,Seamus Begley。1996 作。Starc)
*JOHN WHELAN:Celtic Roots Y
(副題"Spirit Of Dance"。2002 作。Narada)
*AOIFE:The Turning OfThe Tide Y

(2002 作。Celtic Collections)
*IAN CARMICHAEL:Ten Years On(2014 作。SplitRock Music)　X
*SEAN DOYLE:The Light And The Half-Light　X
(Produced by John Doyle。2004 作。Compass)
*MICKEY DUNNE･MARTIN BYRNES:A TrueBorn Irishman　X
(副題"Irish Traditional Music And Song"。Suffering Duck)
*DAIRE BRACKEN & LORCAN MacMATHUNA:Preab Meadar　X
(2014 作。DBML01)
*CHRISTY SHERIDAN:Silver Notes　X
(副題"Haunting Irish Airs On Mandolin And Banjo"。2004 作。
Christy Sheridan)
*THE HIBS:40 Acre Notch(2008 作。New Folk)　X
*DEIRDRE CUNNINGHAM:City Of Tribes(1996 作。Lochshore)　X
*RANN NA FEIRSTE "Ceol Agus Amhrain"　X
(1973 年/2006 作。Gael Linn)
*THE LIFE AND WORKS OF W.B.YEATS　X
(二枚組。Read by Jim Norton,Denys Hawthorne,Nicolas
Boulton and Marcella Riordan。2002 作。Naxos)
*DIAMOND MOUNTAIN SESSIONS PRESENTS...(2004 作。Daisy)　X
※レコード会社より CD がケースにセットされる前の状態で送られてきたために、ブックレットに挟まれていた CD 本体の表面にうっすらと擦れた痕が付いています。音質には問題ありません。

(サンプル CD/Ireland)
*TEADA:Ceol & Cuimhne　Y
(バーコードがマジックでけされたほぼ新品のサンプル盤。2010 作。
Compass)
*GRADA:Natural Angle　X
(バーコードに小さな穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2010 作。
Compass)
*ATHENA TERGIS:A Letter Home　X
(Produced by John Doyle。バーコードに小さな穴の開いたほぼ
新品のサンプル盤。2007 作。Compass)
*NOEL LENAGHAN:A Long Time Since　X
(Produced by John Doyle。バーコードに小さな穴の開いたほぼ
新品のサンプル盤。2007 作。Waterbug)

(CD+DVD/Ireland)
*TEADA:Inne Amarach(2006 作。Compass)　D

(CD/Ireland,Wales,Isle Of Man 他})
*CELTIC SONGS OF LOVE　D
(Emma Christian,Moira Craig,Michael Henry,Julie Murphy。
全 23 曲。1997 年。Beautiful Jo)

(CD/Norway)
*FRA OLA NARR:Fra Ola Narr(1988 作。Sidespor)　Y

(中古 CD/Latvia)
*INGRID KARKLINS:A Darker Passion　Y

(ほぼ新品。1992 作。Green Linnet)

(CD/Belgium,Flanders)
*SHANTALLA:Shantalla(1998 作。Wild Boar Music) Y

(CD/France,Bretagne)
*TRISKELL:Harpes Celtiques(1996 作。Gravit) Z
*JEAN VAISSADE:Ses Grands Succes Z
(ミュゼット。オリジナル録音 1935-1972 年。1992 作。I.L.D)
*FREDO GARDONI:Les Inoubliables De L'Accordeon Z
(ミュゼット。オリジナル録音 1926-1936 年。1992 作。Music Memoria)
*PENNOU SKOULM:Fest-noz Z
Soig Siberill,Jacky & atrick Molard,Christian Lemaitre,
Jean-Michel Veillon から成るスーパー・ブレトン・バンドの一
枚目。1994 作。Escalibur)
*OBREE ALIE:Alment D'If(2000 作。Coop Breizh) Y
*DIAOULED AR MENEZ:Fest Noz Depois 1972 Y
(1997 作。Coop Breizh)
*PALLADIAN ENSEMBLE:Les Saisons AmuSates Y
(ゲスト:Nigel Eaton,Jean-Pierre Rasle。1997 作。Linn)
*PLANTEC:A-Raok(2007 作。Aztec) X

(CD/Portugal)
*JULIO PEREIRA:Graffiti(2010 作。Discmedi) Y

(CD/Basque)
*ALBOKA:Lorius(2001 作。Resistencia) Z

(CD/Galicia)
*SUSANA SEIVANE:Susana Seivane A
(1990 作。Boa Music)
*SUSANA SEIVANE:Mares De Tempo C
(ボーナス DVD{PAL}付。1994 作。Boa Music)
※ご存じガリシアの女性ガイタ奏者 Susana Seivane の二作。彼女
のガイタをフィーチャーしたガリシアン・トラッドは新鮮だった。
彼女の家はガリシアの有名な弦楽器製作者兼音楽家の家系。

(CD/Italy)
*BEV:Variabile/Naturale(2001 作。Felmay) Y
*BETTI ZAMBRUNO & BARTAVELA:Cante Bergera Y
(2001 作。FolkClub Ethnosuoni)
*UARAGNIAUN:Skuarrajazz(2000 作。Dunya) X

(CD/Greece)
*IRENE PAPAS・VANGELIS PAPATHANASSIOY・Rapsodies Y
(ギリシャの女性トラッド・シンガーの Irene Papas とギリシャを
代表するコンポーザー/シンセサイザー奏者の Vangelis
Papathanassiou による 1986 年作。Polydor)

(CD/Russia)

*INNA AND THE FARLANDERS:The Dream Of Endless Nights　A
(1999 作。Shanachie)

(CD/Mordva)
*VIRYAVAKAY:Oh Mother,Protectress Of The Forest　Y
("Songs And Melodies Of The Mordva"。2001 作。Pan)

(CD/Armenia)
*HAYASTAN:Armenian Dances(1991 作。Van Geel)　Y

(CD/Bulgaria)
*IVAN SPASSOV:Aishinka　Y
("Two Bulgarian Female Choirs A Capella"。1996 作。Cocord Jazz)

(CD/Hungary)
*KALLOS ZOLTAN ES AS EGYUTTES:Busulni Sohasem Tudtam...Z
(1997 作。Fono)

(サンプル CD/World Music)
*A PUTUMAYO WORLD MUSIC SAMPLER　¥100(税込み¥110)
(カードウォレット仕様。Mairead Ni Dhomhnaill,Dougie
Maclean,Mary Black,Black Uhuru,Carrie Newcomer 他。全 16 曲"。
Putumayo)

［ＬＰ］在庫各 1～2 枚。多少経年劣化気味。欧州盤は封なし。
※全 LP かつて当店で販売したのベストセラーや推薦盤クラス。
未開封のは開封検品してお送りします。
(LP/USA)
*BILLY C FARLOW:I Ain't Never Had Too Much Fun　A
(Produced by Fred James。ゲスト:Mary-Ann Brandon。1991 作。
Appaloosa)
*DOAK SNEAD:Think Of Me Sometime(1977 作。Crazy Cajun)　A
*ROD MACDONALD:White Buffalo(1987 作。Mcdisk)　A
*BILL HARLEY:Coyote(1987 作。Round River)　A
*MIKE WILLIAMS:The Road Show　A
(Nanci Griffith を見いだしたレコード会社のオーナーで SSW の
Mike Williams の一枚目。1977 作。B.F.Deal)
*MIKE WILLIAMS:Comin' Atcha!　A
(70 年代テキサス発 SSW アルバムの名盤。ゲスト:Nanci Griffith。
1977 作。B.F.Deal)
*BOBBY GOSH:Mother Motor(カット盤。1972 作。Polydor)　A

(LP/CANADA)
*GRIT LASKIN:Unmasked　B
(ミニ解説:Stan Rogers。1979 作。Fogarty's Cove)

(LP/ENGLAND)
*CHRIS SIMPSON:Listen To The Man　B
(元 Magna Carta の Chris Simpson のデビュー・ソロ。1984 作。
Celtic Music)

*PETE MORTON:Frivolous Love(1987 作。Harbourtown)　B
*COPPER FAMILY:Coppersongs-A Living Tradition　B
(1988 作。English Folk Dance And Song Society)
*GORDON TYRRALL
:How Can I Live At The Top Of A Mountain　B
(1983 作。Celtic Music)
*BRAM TAYLOR:Dreams And Songs To Sing　B
(1986 作。Fellside)

(LP/SCOTLAND)
*GEORGE JACKSON & MAGGIE MacINNES:Cairistiona　D
(Ossian の George Jackson と組んだ Maggie MacInnes のデビュー・アルバム。1984 作。Iona)
*ALISON KINNAIRD:The Harp Key(1978 作。Temple)　A
*ALISON KINNAIRD:The Harper's Gallary(1980 作。Temple)　A

(LP/IRELAND)
*BUTTON & BOWS:The First Month Of Summer　A
(Seamus & Manus McGuire and Jackie Daly with Garry O'Brien and Charlie Lennon。1987 作。Green Linnet)
*MAIRE NI CHATHASAIGH AND CHRIS NEWMAN
:The Living Wood(1988 作。Green Linnet)　A
*TOUCHSTONE:The New Land(1982 作。Green Linnet)　A

(LP/WALES)
*CROMLECH:Gwlith Y Bore(1980 作。Sain)　B
*AR LOG:Ⅱ(1980 作。Sain-Dingles)　B

(LP/FINLAND)
*PIRNALES:Pirnales(1989 作。Olarin)　C

(LP/SWEDEN)
*GROUPA MED LENA WILLEMARK:Manskratt　A
(ジャケット下部に 3 センチほどジャケットが剥がれた痕があります。1990 作。Amigo)
*KALLE ALMLOF:Spritt Mor Esamin(1985 作。Amigo)　A

(LP/GERMANY)
*LILIENTHAL:Tanzteufer(1983 作。Folk Freak)　B
*DIE SCHMITZ BACKES VOLKSTANZ KOMPANIE　B
(1980 作。Autogram)

(LP/PORTUGAL)
*JOSE AFONSO:Grandola Vila Morena　A
(副題"Portugal 25 Abril 1974"。ジャケット表面にうっすら汚れが付着しています。1975 作。Plane)
*JOSE AFONSO:Ao Vivo No Coliseu(二枚組。1983 作。Diapasao)D

(LP/SPAIN)
*JOAQUIN DIAZ:Canciones De Los Ancares(1988 作。Saga)　B

(LP/GALICIA)
*NA LUA:A Estrela De Maio(1987 作。Edigal) C

(LP/ITALY)
*RE NILIU:Caravi(1987 作。Robi Droli) C

(LP/GREECE)
*ヨルゴス・ダラーラス:50 Hronia Rebetiko Tragoudia D
(ギリシャ歌謡を代表する男性歌手ヨルゴス・ダラーラスの 1975 年作の二枚組。1918～65 年に収録されたレベティカを当時のスタイルに則って演唱した意欲作。ハリス・アレクシーウがコーラスでゲスト出演。歴史的名盤。Minos)

(LP/MALI)
*SALIF KEITA:Soro(1987 作。Stern's) A
*ALI FARKA TOURE:Ali Farka Toure(1987 作。World Circuit) Z

(LP/MARTINIQUE)
*KALI:Racines Vol.2(1990 作。Hibiscus) A

(サンプル LP/USA)
*EDDIE LeJEUNE:Cajun Soul(1988 作。Rounder) Z

[カセットテープ]
(カセット/USA)
*PEGGY SEEGER & EWAN MacCOLL:Songs Of Struggle Y
(副題"Recorded Live At The Tom Mann Theatre"。カセット二本組。オーストラリアでのライヴ。全 34 曲。1976 年。The Amalgamated Metal Workers And Shipwrights Union。※ケース劣化)

(サンプル・カセット/USA{Celtic,Trad})
*KIM ROBERTSON・VIRGINIA KRON:Gratitude X
(1988 作。Invincible)

(カセット/CANADA{Celtic,Trad})
*RANKIN FAMILY:Fare Thee Well Love Y
(1990 作。The Rankin Family)
*MUDDY YORK:Scatter The Ashes X
("Music Of Old Ontario"。1984 作。Boot)
*TOM LEWIS:Sea-Dog,See Dogs!(1990 年。Flying Fish) X

(カセット/Ireland,Scotland)
*FRANKIE GAVIN:Frankie Goes To Town Y
(1991 作。Green Linnet)
*ANAM:Saoirse Y
(1995 作。Anam。※ケース破損のため入れ替えておおくりします)
*ANAM:First Footing Y
(1997 作。JVC。※ケース破損のため入れ替えておおくりします)

（カセット/アジア･太平洋）
*アジア･太平洋の器楽曲[ハイライト版]　Y
（英題"Highlights Of Instrumental Music Of Asia And The Pacific"。1983 作。ユネスコ･アジア文化センター）

《堀田はりいの本》

☆古代ファンタジー小説『東遊伝―鷹王と八百万の神々』　¥2200
（2012 年。梓書院）
☆『神宿る沖ノ島―古代日本人が見えてくる』　¥1800
（2018 年。右文書院）
☆『古代天皇誕生記―こうして天皇の国は生まれた』　¥1800
（2019 年。右文書院）
☆『卑弥呼の時代－絵画で旅する倭人伝』　¥2200
（B5 判・ 104 頁・オールカラー。2021 年。右文書院）
※消費税免税。

（あとがき）
*仕入れ金額を見てドキッ！円安はこたえますね。仕入れ額に加えて通関時と販売時にかかる 10 パーセントの消費税。仕入れ値が上がると結構大きいですね。
*長い付き合いのヨーロッパの業者の社長から「早弥香の CD の音楽配信をしてやろうか。ただで良いよ」と。現在、Spotify で早弥香の"Light"と Ceis(Sayaka Ikuyama & AGATA の"Wondering Aengus"が視聴･購入が出来ます。"Spirited Harp"も間もなくかと思います。
※Spotify のサイトです↓
https://open.spotify.com/intl-ja/artist/7hMpvcPz1CwoWUfcKdXbwL
*現在在庫切れの"Spirited Harp"以外の以下の早弥香の CD も宜しくお願いします。
*生山早弥香:Light(2011 作。タムボリン)　定価¥2500
*Ceis:Wandering Aengus(2013 作。タムボリン)　定価¥2500
※消費税免税。CD 二枚ご購入の方は二割引きさせて頂きます。
*長い間頭痛持ちで頭の MRI 検査では脳には異状なし。それじゃ肩こりかと肩こりと首こりの体操を続けたら、多少改善。ドライアイを診てもらってる船津医師に世間話がてら「頭のこの辺が痛いんですよ」と言ったら、「眼精疲労じゃないですかね」と。目薬を処方してもらったら、頭痛がすっかり治ってしまいました。
*体調は万全。しかしゆるい生活に慣れてしまった体は果たして仕事のペースを取り戻せるやら･･･。（船津）

クリス・ブレインからタムボリンの画像を送って欲しいと連絡がありました。通販店だからショップはないと知らせた上で、倉庫とオフィスそして倉庫内の写真を送りました。

タムボリンの倉庫（左）とオフィス（右）

タムボリンの倉庫。クリス・ブレイン用にディスプレー。

©タムボリン